

2. 指標設定

成果指標	指標名	子育て支援の充実		目標年度	H26	指標の設定理由			
	数値	—				豊後大野市きらきらこどもプランの数値目標となっているため			
活動指標	指標	a	情報の収集	b	子育てボランティアの育成	c	相談活動の充実	d	各機関の連携による支援
	数値	目標	—	目標	—	目標	—	目標	—

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
子育て支援の充実		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 情報の収集		—	—	—
b 子育てボランティアの育成	人	20 人	20 人	18 人
c 相談活動の充実	件	2 件	24 件	6 件
d 各機関の連携による支援	回	30 回	30 回	30 回

4. 課題と対応

課題
まかせて会員及びよろしく会員の拡大と相談活動の充実。
対応（改善点等）
利用の促進を図るため広報活動を推進する。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

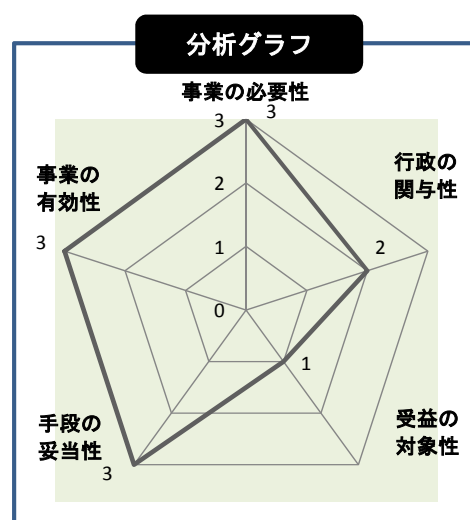
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		3,889	2,972	2,984	3,515
		3,036	2,972	2,779	2,820
財源内訳	国費				
	県費	1,091		114	447
	市債				
	その他				
	一般財源	2,798	2,972	2,870	3,068
うち経常		2,796	2,972	2,799	2,800
事業費に係る人件費		6,450	5,582	5,666	5,766
事業費に係る人役		1.50	1.30	1.30	1.30

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
家庭児童相談員の人件費やボランティア会員の各種保険代等単独事業分については現状を維持する。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 緊急時に一時的に子どもを預かる支援体制の構築が必要である為。
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 民間のサービス提供体制が薄いため、部分的に行政が支援する必要がある。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 支援者が児童及び子育て中の保護者に限られているため。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 対象者への支援のため、情報の収集、ボランティアの育成、相談活動の充実、各機関の連携による支援は適切である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 数値目標は設定していないが、事業の有効性は高いと判断できるため。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	適正かつ効果的な事業実施に努めること。